

研修案内

# VR認知症体験会



VR認知症

- 認知症を“体験”する -

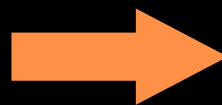
「認知症を学ぶ」のではなく  
「認知症を体験する」ことで  
認知症のある方への理解を深める体験会です

認知症になると想いを表に出しづらくなり、代わりに起こす行動が“周囲には理解できないもの”として映ってしまうことが多くあります。

表面的な行動は「徘徊」「帰宅願望」「入浴拒否」「暴力・暴言」などの様々な言葉で表現され、“認知症だから起こすもの”と思われがちです。しかし、認知症がある方を取り巻く「問題」とされるものは、ご本人の問題ではなく、ご本人を取り巻く周囲の理解やコミュニケーションが大きく影響していることが多いということを、ご本人の視点を体験することで理解に繋がられることを目的としたプログラムです。

※ 開催日時、場所などの詳細は裏面をご確認下さい

研修会の参加申込はこちらから



参加費  
無料

※しまね電子申請サービス

URL : [https://apply.e-tumo.jp/pref-shimane-u/offer/offerList\\_detail?tempSeq=15294](https://apply.e-tumo.jp/pref-shimane-u/offer/offerList_detail?tempSeq=15294)

お申込期限：令和5年9月4日(月)

【主催】 島根県高齢者福祉課 地域包括ケア推進室 TEL : 0852-22-6341

# VR認知症体験会 開催要領

## 目的

キャラバン・メイト、介護従事者、医療従事者、行政職員等を対象に、認知症を“学ぶ”のではなく、認知症の症状を本人視点で“体験する”ことで、認知症のある方への理解を深めることを目的に「VR認知症体験会」を実施します。

## 内容

「VR認知症体験会」は、VRの技術を活用し、認知症の中核症状を一人称で体験するものです。

複数の認知症の症状を本人視点で体験し、本人の視点に立ったときにその状況で何を感じ、何を思うのかを体験します。

想像だけでは感じる事が出来なかった感情を体験した後に、同時に体験している参加者同士で感想を述べ合い、認知症がある方を取り巻く環境をどの様に変えることが状況改善につながるのか意見を出しながら認知症がある方を取り巻く問題の本質に迫るプログラムです。

## 主催

島根県 健康福祉部 高齢者福祉課（地域包括ケア推進室）

## 対象

- ・キャラバン・メイト
- ・介護支援専門員
- ・認知症地域支援推進員
- ・介護事業所等に勤務する介護従事者（リハ職等も可）
- ・医療従事者（医師、看護師、精神保健福祉士、ケースワーカー、等）
- ・行政職員  
（市町村、地域包括支援センター職員、介護保険者、保健所等の認知症施策担当者）

※ 先着順ではありません。キャラバン・メイトの方の参加を優先させていただきます。

## 日時 ・ 場所

### 雲南開催

定員50名

- 日時：9月19日（火）  
12:30～14:00  
（受付：12:00～12:30）
- 場所：チェリヴァホール 3F大会議室  
〒699-1311 雲南市木次町里方55  
駐車場：平地 180 台および立体駐車場（無料）

### 川本開催

定員50名

- 日時：9月20日（水）  
10:30～12:00  
（受付：10:00～10:30）
- 場所：川本合同庁舎 501会議室  
〒696-8510 邑智郡川本町大字川本265-3  
駐車場：平地45台、その他周辺駐車場有り（無料）

### 益田開催

定員50名

- 日時：9月21日（木）  
10:30～12:00  
（受付：10:00～10:30）
- 場所：島根県芸術文化センター「グラントワ」 多目的ギャラリー  
〒698-0022 益田市有明町5-15  
駐車場：平地約240台（無料）

※ 体験会は1回完結で、いずれの会も同じ内容です